



キンシャサの軌跡



JICAコンゴ民主共和国事務所通信

2015年8月 Vol. 17

Congo Shot! -今月のコンゴ-

コンゴ民のエボラ対策の知見をセネガルへ!



Kinkoleのエボラ治療センターでの
実地研修の様子

セネガルから保健関係者御一行様、キンシャサご到着♪といっても観光ではありません。2015年8月13日から8月21日までセネガル保健関係者22名を対象としたエボラ対策研修をキンシャサで実施しました!

ハイライトは研修5日目のエボラ治療センターでのシミュレーション! 患者役の名女優(実は看護師)の熱演のおかげもあり、リアルな研修に☆防護服に身を包み、患者の受入やケアの方法、各種ロジの確認、患者や家族の精神的なケアのシミュレーションに熱心に取り組むセネガル保健関係者。各場面でアドバイスするのはギニアで実際にエボラ患者の治療にあたったコンゴ人医療従事者。そして、クライマックスは防護服の脱衣。防護服の安全な着脱は医療従事者の命に係わる重大ポイント。完璧に防護服が脱げるまで何度も動作確認。暑くても、疲れていても手を抜けません!! コンゴ民の知見を域内に広げ、エボラのない世界を目指して協力を続けていきます!

劇的☆空港新ターミナルの完成です♪

アフリカの多くの空港といえば、到着するなり気合い十分!と戦闘モードに入る人も多いはず!?キンシャサ・ンジリ空港もその例外ではありません。といってもそれは過去の話。ンジリ空港の到着ロビーが新設され7月8日から使用可能となりました。前回の一時帰国からの帰り、ンジリ空港に降り立ち、別世界のような新ターミナルに到着した際には、間違っただけで違う国に来てしまったのかと一瞬思ったほど(税関の中なので写真が撮れないのが残念(涙))。これまでの旧ターミナル(これからも使われますが)ではカオスのような列のイミグレーションに並び、そのまま薄暗い体育館のような税関で荷物を暗然と待ち受けていたのですが、新しいターミナルではティスニーランドのように効率的にイミグレーションに並び、そこから光まばゆい税関の、新しいピカピカのターンテーブルから荷物を受け取るのです。「あ〜、なんとということでしょう。かつてはポロポロで薄暗かった税関が、なんと、匠の手によって光輝くターンテーブルを持った素敵に生まれ変わったのです!」。成田や羽田に比べれば何てことはないかもしれませんが、これまでのカオスぶりから考えれば大きな進歩です。といえど新ターミナルでは到着ロビーのみが供用に付され、まだ出発ロビーは準備中ですが、これでキンシャサへの旅がさらに楽しくなることは請け合いです☆ただし、新ターミナルを使えるのはエールフランスや、ベルギー航空など一部の国際線に限定されるのでアフリカ「横横」移動の旅では新ターミナルに巡り会えないかもしれませんが…。

Congo Life! -コンゴで生きる-



↑↓(註:コンゴ民の空港です)



<http://www.radiookapi.net/actualite/2015/06/25/>より転載

Eat Congo! -コンゴで食べる-

キンシャサ朝ごはん事情



朝のオフィスのお供にベニエ



やめられないとまらない、
キャッサバ

一日の始まり、朝ごはんは世界どこへいっても現地の人々のソウルフード。これを食べなきゃ目が覚めない!というもの。というわけで、突撃☆隣の朝ごはんin Kinshasaを決行! オフィス街・繁華街に関わらず、通りでよくみかけるのが、ベニエ(揚げドーナツ)売りのおばちゃん。1つ100フラン(約10円)、ごろんと大きくアツアツのベニエに、とろーりとろけるピーナツバターをつけてお茶と一緒にいただければ、朝から栄養満点、テンションが上がる! ビリビリソースを加えてアクセントをつけるもよし。オフションでアボカドトッピングする人はカロリー取りすぎに注意!! たらー一杯に入れてお姉さんが頭に載せて売っているバゲットに常温保存OKのマーガリンを塗ったものも朝の定番。さて、朝のマルシェに繰り出せば、さらに魅力的なスナックが並んでいます。まずはキャッサバやバナナを素揚げしたフリットをほおぼり、禁断の(?) 買い食い気分を。そして、ほとんど揚げていないに近いかかりの卵焼きをパンにはさめば、朝マ●クを超える?! とのうわさも高いやみつきのサンドイッチ。面白いのは、ごはんを甘く味付けして揚げた「米ベニエ」。これ、日本の甘醤油せんべいのような味わいで、なんとも懐かしい♪ さて、今日もJICAコンゴ民事務所では、スタッフがピーナツバターたっぷりのベニエをほおぼりながら朝のメールチェック…あ、書類に油、ついてるよ! ?

「●●のデータ下さい！」と頼むと、「70年代の調査結果がどこかに・・・」。「予算ってどうなってますか？」と尋ねると「配分があるか分からないから、JICAで何とかならない？」というやりとりは、コンゴ民では日常茶飯事(涙)この状況の典型例が、保健セクター!?コンゴ民の保健システムは、90年代の内戦でボロボロに。現在も保健省はどこに、どれだけ保健人材がいる、という基本的な情報を把握できておらず。。。そこで、JICAは2008年から保健人材開発に焦点を当てて支援をしており、現在は保健アドバイザーと技フ口が精力的に活動を展開中!!というわけで、今月号からは魅了あふれるコンゴ民の保健プログラムをご紹介します☆

連載第1回目のトピックは保健アドバイザーが支援している5SKaizenTQMの普及活動。池田専門家は2008年から短期専門家としてコンゴ民で活動を続け、コンゴ民Loveが高じて(!?)2013年から保健省次官のアドバイザーを務めています。短期専門家時代の2009年から導入を始めた5S手法ですが、キンシャサのパイロット病院であるンガリエマ病院では「Kaizen先生」ことチャマラ病院長の強いリーダーシップのもと5Sが定着し始め、Kaizenフェーズが始まりました。ンガリエマ病院に行くと、コンゴ民の病院としては珍しく(!?)建物は清潔に保たれ、各診療科もきちんと表示され、料金表もわかりやすく掲示され、患者にも利用しやすい環境です☆ついに今年、病院敷地内にKaizen学校を整備し、5STシャツや缶バッチなどグッズ作成にも力を入れ始めました! 地方展開も積極的に行っており、(旧)11州のうち、北キヴ州とマニエマ州を除く9州で既に5Sを導入しました! 導入アトリエを実施した翌年にモニタリングを実施したところ、強いリーダーシップが発揮された病院では整理整頓がされるなど、良い結果が確認されました♪これからもコンゴ民全土への5S Kaizen の普及を目指して日々飛び回っていきます!



5Sの講義をする池田専門家
@ルブンバシ



現場で熱心に説明!
@西カサイ州カナンガ 総合病院

Made in Congoがみんな集合!! FIKIN、開催中!!

コン月のイベント



公企業パビリオンの前にて、こんな建物が15個以上あります。



Made in Congoがずらり。キンシャサに工場を持つ企業がほとんどでした。

「YO、そこのマドモワゼル、おれとFIKINで遊ばねえか?」
毎年この時期になると、キンシャサはこんなヤンキーで溢れかえります。そう、毎年7-8月の一か月、キンシャサ国際見本市(FIKIN)が開催されているのです! 国内外からの企業が、15を超えるパビリオンに所狭しとブースを並べ、縁日のような出店やヨーカート場も備え、ちょっとした遊園地状態。入場料たったの2000フラン(約200円)で老若男女問わず、一日楽しめちゃいます!

今年は例によって(?)準備が終わらず、開催が2週間ほどずれ込みましたが、平日にも関わらずかなりの来客。ただ「国際」というよりかなりは「これもメイド・イン・コンゴ?」と言いたくなるような、たくさんの商品が! おなじみのピリピリ(唐辛子ペースト)、しょうがやビスップ(ハイビスカス)ジュースの他にも、コーヒーリキュールにトマトピューレ、漢方的な薬草類などなど、カップルで試食するにはうってつけ?? さらに洋服や靴、アクセサリーなどのアパレル・ファッション系のブースも充実していました。さすがアフリカ・ファッション中心地、キンシャサです!!(え?)

今回は遊びに来たのではなく、JICAが支援している職業訓練機構と中小企業機構の仲間たちとともに、キラリ☆と光る現地企業を発掘することが目的。これからは今回目を付けた有望企業に突撃訪問して、中小企業のニーズに迫っていきます!!

愛すべき?コンゴ人

編集後記



所属: ンガリエマ病院
氏名: チャマラ病院長

テンガロンハットがトレードマークのこの方、カイゼン先生(Maitre Kaizen)と呼ばれ、巷での知名度も抜群。5Sの国立パイロット病院の病院長として、積極的に同手法の普及に努めています。2015年6月には病院内にカイゼン学校を整備し、自分の引退後に5Sの普及を担う人材の育成にも力を入れています!

<☆今月のリンガラ語☆> 「マカシ」
コンゴ民を表す形容詞といえばコレ! コンゴ民滞在が長くなると、「マカシ」な人になれます!?
前号の答えは、「ヤ ソロ!?」=「本当!? Really!?」「書類、なくしちゃったみたい」という外務協力省担当からの電話。否定してくれと祈りつつ「ヤ ソロ!?」と聞きかえしても、否定してくれず、5Sを推進したくなる担当の机の上を探しに外務協力省へ走る今日この頃(涙)
キンシャサではパイヤ、アボカドが食べ頃。道路脇で売いさばく元気なコンゴ女性たちは気風が良く、3つ買ったら2つおまけをくれるので、「コスパが良い!」と大人買いするのは某所長。今月号からはコンゴ民が誇る保健プロジェクトの連載が満を持して始まりました。次月号もお楽しみに♪